

生駒市の高齢者を取り巻く現状について

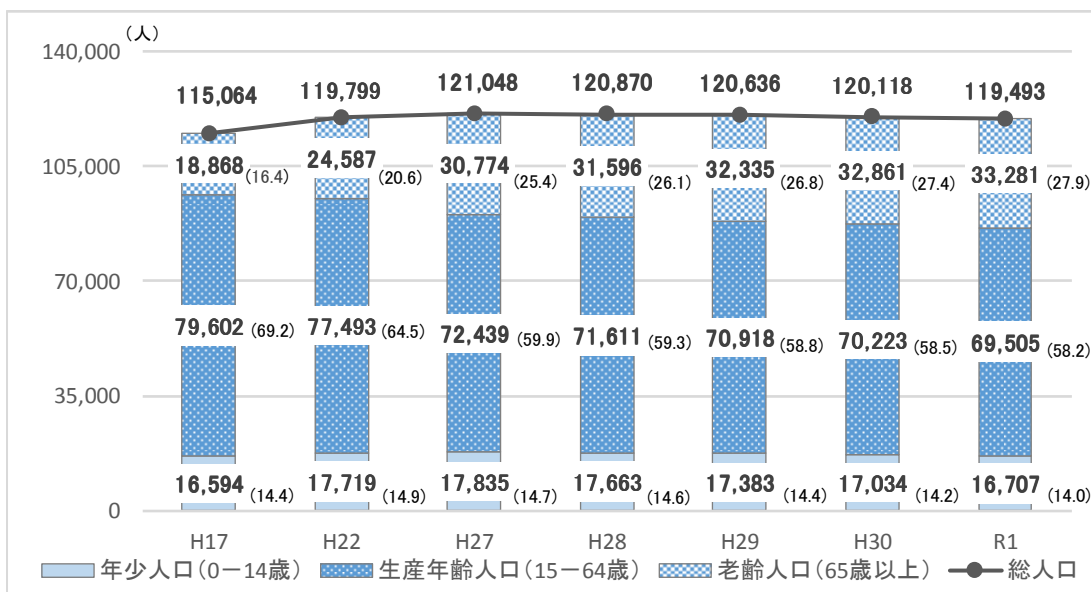
生駒市の高齢者を取り巻く現状

1 人口と世帯数

(1) 人口の推移

本市における年齢3区分人口をみると、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にありますが、高齢人口（65歳以上）は増加傾向にあり、令和1年に33,281人となっています。これにともない年齢3区分人口構成比も同様の傾向がみられ、高齢人口割合は令和1年に27.9%となっています。

図表-1 年齢3区分別人口推移



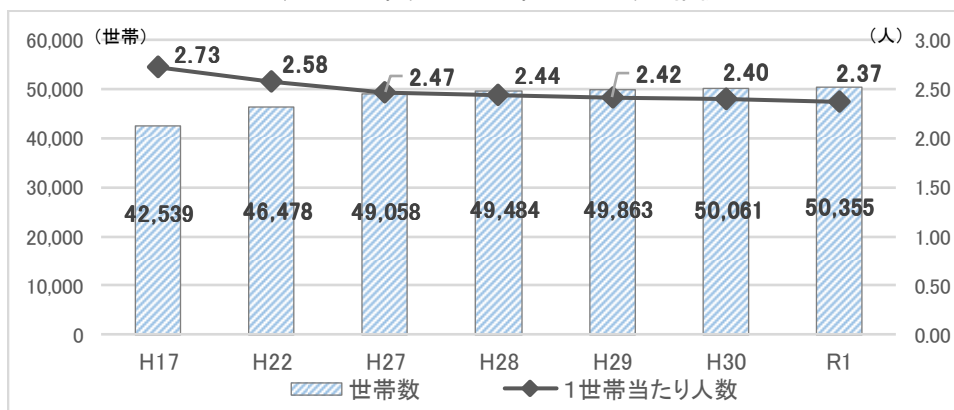
※各年10月1日現在

※括弧内の数値は年度別の内訳の割合

(2) 世帯数の推移

世帯の状況をみると、世帯数は増加傾向にありますが、1世帯当たりの人数は減少傾向で推移しています。

図表-2 世帯数及び1世帯当たり人数の推移



※各年10月1日現在

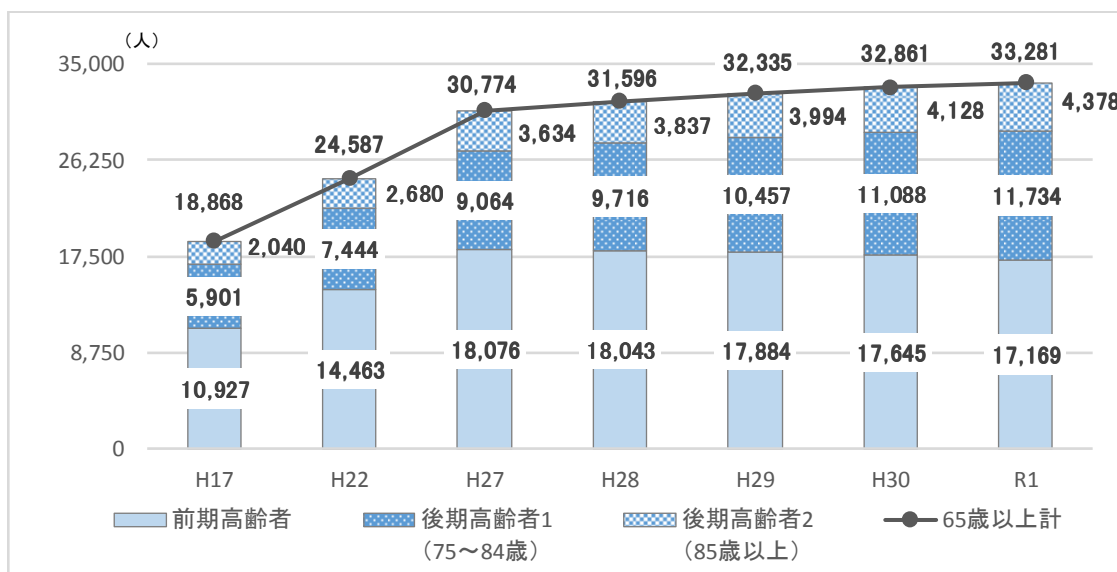
2 高齢者の状況

(1) 高齢者人口の推移

本市の65歳以上の高齢者人口は増加傾向で推移しています。高齢者人口の内訳をみると、前期高齢者（65歳～74歳）が最も多く、次いで75歳～84歳の後期高齢者、85歳以上の後期高齢者の順になっています。

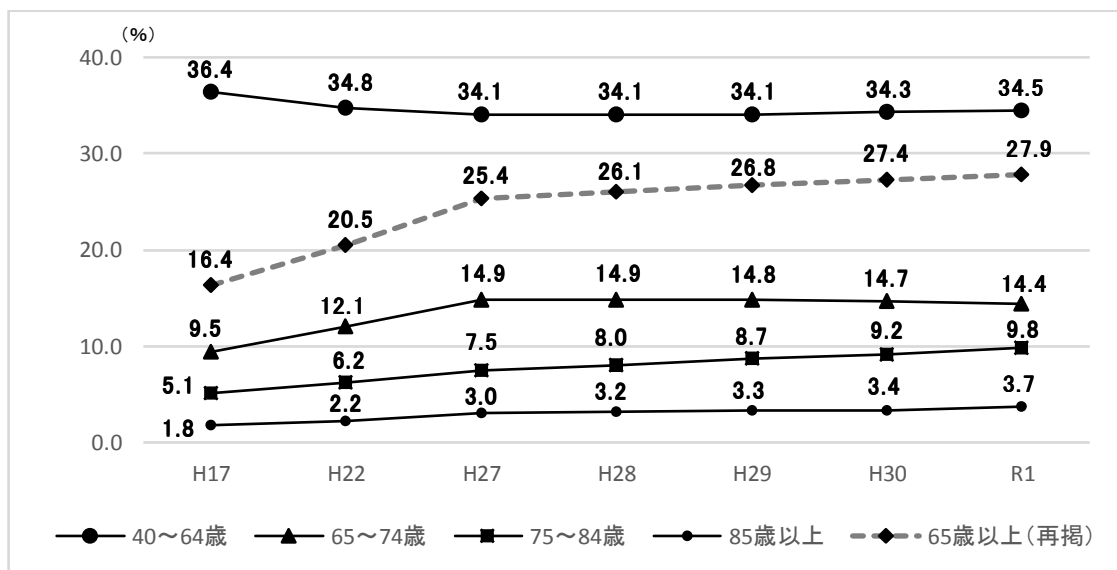
年齢区分別人口構成比では、75歳以上85歳未満及び85歳以上で増加傾向にあり、65歳以上75歳未満の年齢区分は減少傾向にあります。

図表-3 65歳以上人口の推移



※各年10月1日現在

図表-4 年齢区分別人口の総人口に対する構成比



※各年10月1日現在

(2) 高齢者のいる世帯の状況

本市の高齢者のいる世帯数は平成 27 年で 19,422 世帯と、平成 12 年と比べて約 1.8 倍になっています。また、高齢者単独世帯（ひとり暮らし高齢者世帯）は平成 27 年で 4,380 世帯、高齢者夫婦世帯は 6,286 世帯となっており、高齢者のいる世帯のうち、半数がひとり暮らし高齢者または高齢者夫婦世帯となっています。

図表-5 高齢者のいる世帯の推移

	H12	H17	H22	H27
総世帯数 (A)	38,303	40,077	44,484	45,593
高齢者のいる世帯 (B)	10,579	12,939	16,316	19,422
総世帯数に対する比率 (B/A)	27.6%	32.3%	36.7%	42.6%
うち高齢者単独世帯 (C)	1,675	2,313	3,306	4,380
総世帯数に対する比率 (C/A)	4.4%	5.8%	7.4%	9.6%
うち高齢者夫婦世帯 (D)	3,168	4,312	5,848	6,286
総世帯数に対する比率 (D/A)	8.3%	10.8%	13.1%	13.8%

※国勢調査による

(参考) 全国・奈良県の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者数

	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
全国計(千人)	3,032	3,865	4,791	5,928
奈良県(人)	-	36,985	46,901	59,231

※各年 10 月時点

※全国データ:国勢調査による。奈良県データ:平成 27 年国勢調査人口等基本集計結果(奈良県)統計表から

(3) 年齢別ひとり暮らし高齢者の状況

本市のひとり暮らし高齢者数を年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれひとり暮らしが増加する傾向にあり、80 歳以上高齢者を見ると、高齢者人口に占める割合は 18.0%と高くなっています。

図表-6 年齢別ひとり暮らし高齢者数の推移と高齢者人口に占める割合

	70~74 歳	75~79 歳	80 歳以上	合計
高齢者(人)	8,692	6,756	8,460	23,908
ひとり暮らし高齢者(人)	860	962	1,521	3,343
ひとり暮らし率(%)	9.9	14.2	18.0	14.0

※ひとり暮らし高齢者数は平成 30 年度の民生委員・児童委員調査による

※高齢者人口は平成 30 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳による

(4) 小学校区別ひとり暮らし高齢者数

本市のひとり暮らし高齢者数は増加傾向にあります。平成 30 年度で 3,343 人、小学校区別にみると、生駒小学校区が最も多く、次いで俵口小学校区、生駒東小学校区の順となっています。

図表-7 小学校区別 ひとり暮らし高齢者数の推移

小学校区	H29 年度	H30 年度	小学校区	H29 年度	H30 年度
生駒北	122	135	桜ヶ丘	236	237
真弓	184	204	生駒東	403	401
あすか野	245	253	生駒	465	504
鹿ノ台	221	241	生駒南	191	192
生駒台	343	364	壱分	193	213
俵口	383	401	生駒南第二	185	198
合計				3,171	3,343

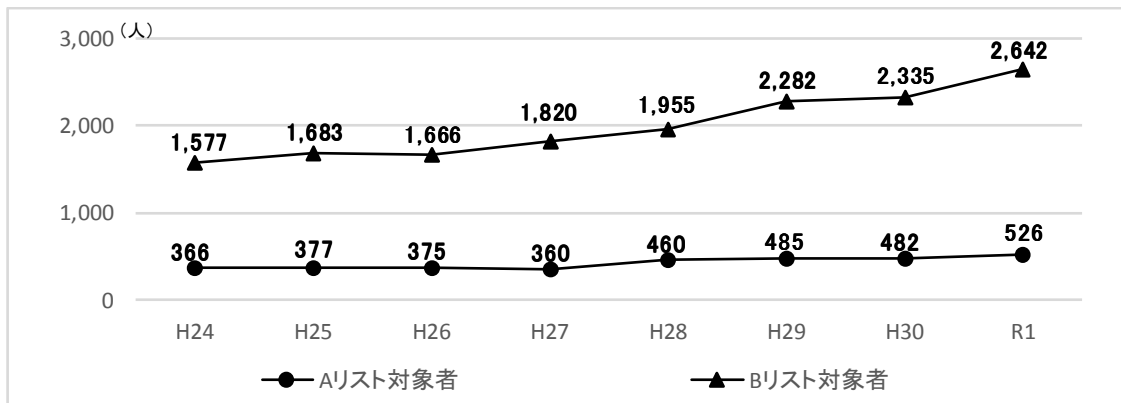
※ひとり暮らし高齢者数は 70 歳以上

(5) 虚弱な高齢者数の推移

本市が取り組んできた元気度チェック（基本チェックリスト）による統計データを参考に、虚弱な高齢者数の推移を表しています。

本市の虚弱高齢者について、B リスト対象者は年々増加傾向にあり、令和 1 年度には 2,642 人となっています。ハイリスクとされる A リスト対象者も微増傾向にあり、令和 1 年度には 526 人となっています。

図表-8 虚弱な高齢者数の推移



※A リスト対象者及び B リスト対象者の定義

本市が実施する元気度チェック(基本チェックリスト)において、本市が独自に設定した分類。

A リスト

- ・定義: 運動+生活全般の機能+(5項目のうちいずれか)に低下項目があり、ハイリスクであると想定される群
- ・関与の程度: 高関与。地域包括支援センターから積極的にアプローチする。

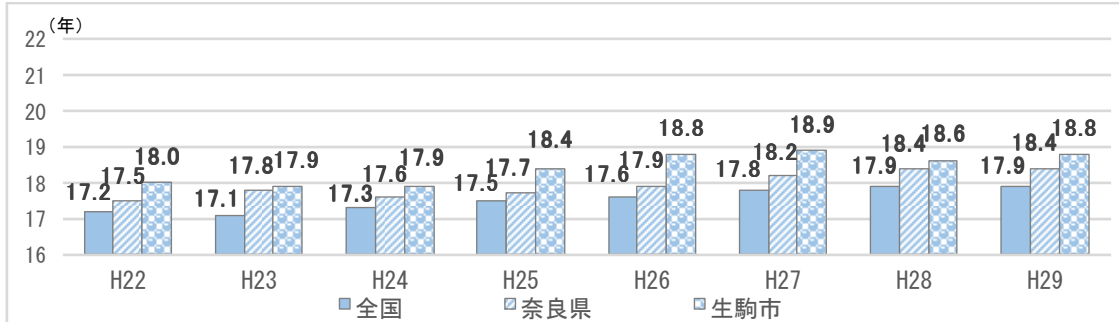
B リスト

- ・定義: 運動・生活機能・栄養・口腔のいずれかに低下が見られる群
- ・関与の程度: 低関与。本人からの問い合わせにより、対応していく。

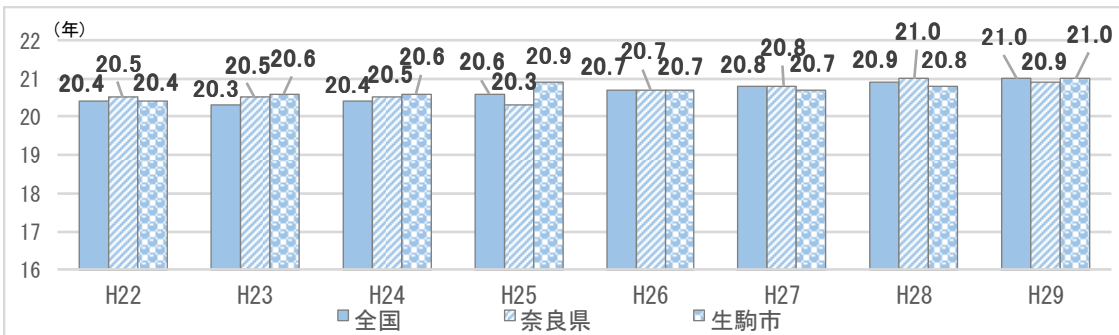
(6) 健康寿命

本市の平成 29 年の健康寿命は、男性は 18.8 年と全国・奈良県と比較して最も長くなっています。女性では、21.0 年と全国・奈良県と比較してほぼ変わりありません。

図表-9 健康寿命の推移(男性)



図表-10 健康寿命の推移(女性)



※奈良県健康づくり推進課の統計データによる

※健康寿命は、日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活できる期間(65 歳からの期間)

(7) 死因別死亡者数

本市の 65 歳以上の高齢者における平成 30 年の死因別死亡者数をみると、悪性新生物が最も多く、次いで心疾患、肺炎の順となっています。また、ここ 6 年間は 5 位だった老衰が、脳血管疾患を上回って 4 位になっています。

図表-11 死因別死亡者数(65 歳以上)の推移

(人)

		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
1位	死因	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	死亡者数	266	249	231	248	271	286	271
2位	死因	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	死亡者数	143	142	133	166	181	167	170
3位	死因	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎	肺炎
	死亡者数	78	100	113	103	95	72	68
4位	死因	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	老衰
	死亡者数	58	48	53	39	48	54	58
5位	死因	老衰	老衰	老衰	老衰	老衰	老衰	脳血管疾患
	死亡者数	27	41	33	27	46	48	48

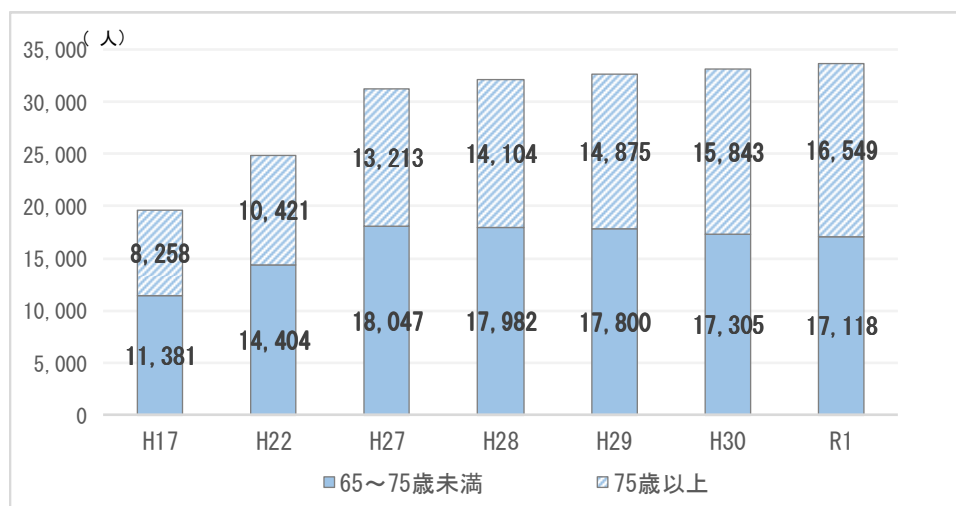
※奈良県地域医療連携課 統計データから集計

3 要支援・要介護認定者等の状況

(1) 被保険者数の推移

第1号被保険者（65歳以上）数全体は、年々増加傾向にありますが、前期高齢者（65～75歳未満）は、平成27年度をピークに減少傾向にあります。

図表-12 第1号被保険者数の推移



※年度表記（各年度末時点）
 ※介護保険事業状況報告による

(2) 要支援・要介護認定者数と認定率の推移

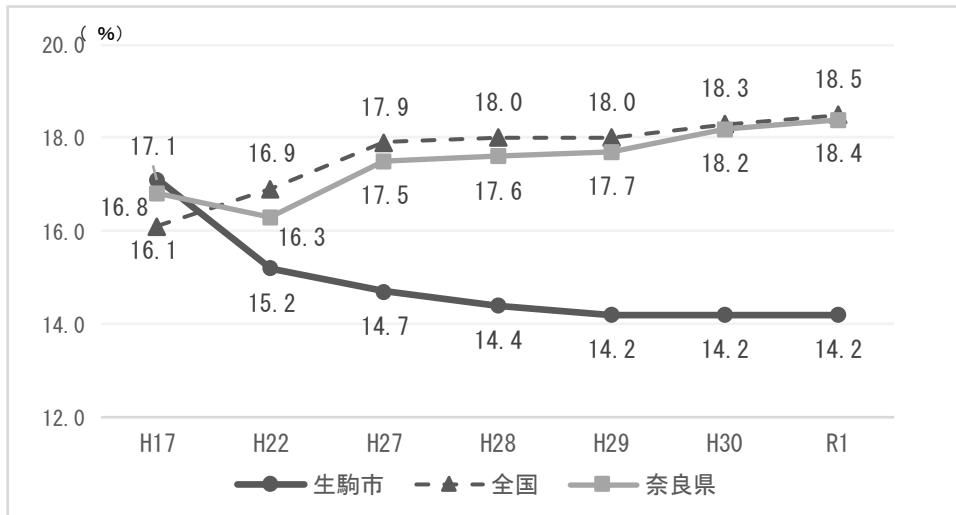
認定者数は増加傾向にあり、特に75歳以上の認定者数が増加しています。要介護度別では、平成29年度以降、要介護2・3が特に増加している一方、要支援1・2は減少しています。認定率を全国・県と比較すると、令和1年度末で、本市は14.2%で、全国（18.5%）、奈良県（18.4%）よりも低くなっています。

図表-13 要支援・要介護認定者数と認定率の推移

	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	
第1号被保険者	被保険者数	19,639	24,825	31,260	32,086	32,675	33,148	33,667
	認定者数	3,350	3,784	4,604	4,628	4,738	4,802	4,885
	(65～74歳)	525	468	591	564	520	493	502
	(75歳以上)	2,825	3,316	4,013	4,064	4,114	4,205	4,270
	認定率	17.1%	15.2%	14.7%	14.4%	14.2%	14.2%	14.2%
	要支援1	752	528	485	451	409	375	338
	要支援2	-	574	710	746	764	755	700
	要介護1	1,163	753	894	852	900	939	931
	要介護2	449	719	893	925	958	975	1,056
	要介護3	430	475	614	629	628	685	751
要介護4	335	422	582	571	608	634	637	
要介護5	221	313	426	454	471	439	472	
第2号被保険者 (認定者数)	129	129	93	103	104	104	113	

※年度表記（各年度末時点）
 ※介護保険事業状況報告による

図表- 14 要支援・要介護認定率の推移(県・全国との比較)

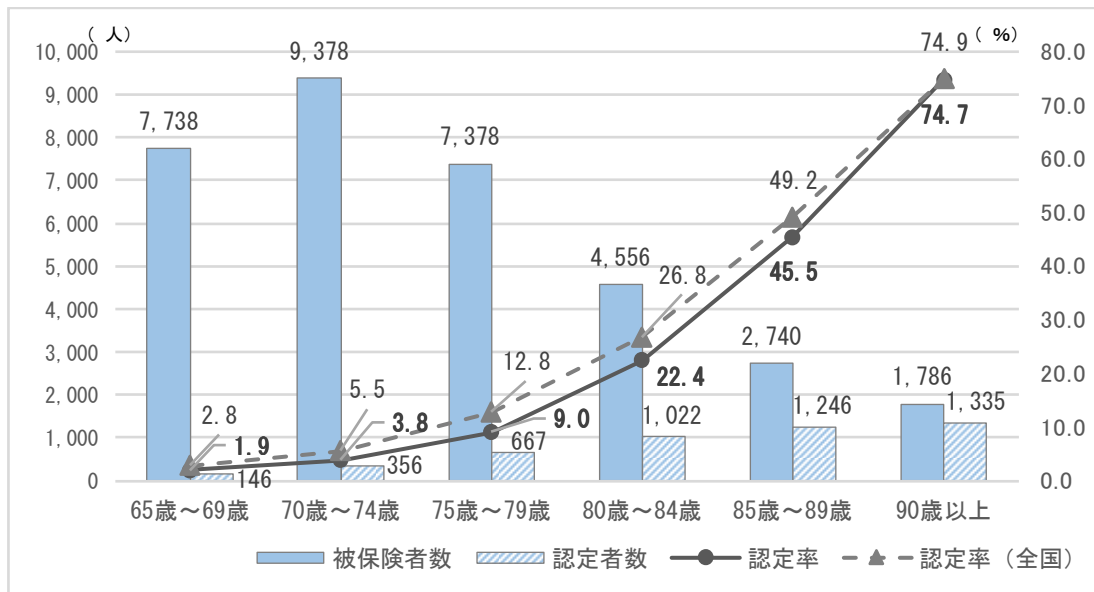


※年度表記(各年度末時点)
 ※介護保険事業状況報告による

(3) 年齢別認定者数と認定率の推移

令和1年度末では、被保険者数は70歳～74歳が最も多くなっています。認定率は、年齢が上がるにつれて高くなっており、特に80歳～84歳では22.4%、85歳～89歳では45.5%、90歳以上では74.7%の人が認定を受けています。全国と比べると、認定率はやや低くなっています。

図表- 15 年齢別の被保険者・認定者数・認定率



※被保険者数は住民基本台帳による。令和2年4月1日時点
 ※認定者数は介護保険事業状況報告による。令和2年3月時点
 ※認定率(全国)は、介護保険事業状況報告(令和2年3月時点)および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より計算しているため、介護保険事業状況報告の認定率とは一致しない。

4 日常生活圏域について

(1) 日常生活圏域の設定とその状況

高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設等の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して「日常生活圏域」を設定することとされています。

本市では中学校区を基本単位とし、地域の特性を考慮して10の「日常生活圏域」を設定し、より細やかに、より効率的にサービスの利用や提供基盤の整備を進めています。

図表-16 本市の日常生活圏域

日常生活圏域	区 域	地 域 名
①	生駒北中学校区 光明中学校区(一部)	高山町、ひかりが丘1～3丁目、北田原町、西白庭台1～3丁目
②	鹿ノ台中学校区	鹿畑町、鹿ノ台東1～3丁目、鹿ノ台西1～3丁目、鹿ノ台南1～2丁目、鹿ノ台北1～3丁目、美鹿の台
③	上中学校区	上町、白庭台1～6丁目、真弓1～4丁目、真弓南1～2丁目、あすか野南1～3丁目、あすか野北1～3丁目、あすか台、北大和1～5丁目、上町台
④	光明中学校区(一部) 生駒中学校区(一部)	南田原町、喜里が丘1～3丁目、生駒台南、生駒台北、新生駒台、松美台、俵口町の一部(阪奈道路以北)
⑤	生駒中学校区(一部) 光明中学校区(一部)	辻町、小明町、谷田町、桜ヶ丘
⑥	生駒中学校区(一部)	北新町、俵口町の一部(阪奈道路以南)、東松ヶ丘、西松ヶ丘、光陽台
⑦	緑ヶ丘中学校区	山崎町、東旭ヶ丘、西旭ヶ丘、新旭ヶ丘、東新町、山崎新町、本町、元町1～2丁目、仲之町、門前町、軽井沢町、東生駒1～4丁目、東生駒月見町、東菜畑1～2丁目、中菜畑1～2丁目、西菜畑町、菜畑町、緑ヶ丘
⑧	大瀬中学校区(一部)	壺分町、さつき台1～2丁目、翠光台
⑨	生駒南中学校区	萩原町、藤尾町、西畑町、鬼取町、小倉寺町、大門町、有里町、小平尾町、青山台
⑩	大瀬中学校区(一部)	小瀬町、南山手台、東山町、萩の台、萩の台1～5丁目、乙田町

図表-17 日常生活圏域の状況

日常生活圏域	(中学校区) 区域名									65歳以上人口(人)	高齢化率	人口(人)
		認定者数(人)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
①	生駒北中学校区 光明中学校区(一部)	297	16	43	72	57	53	34	22	2,231	26.6%	8,400
②	鹿ノ台中学校区	383	22	65	85	75	57	41	38	3,183	34.8%	9,155
③	上中学校区	723	53	105	144	153	106	88	74	6,068	29.9%	20,314
④	光明中学校区(一部) 生駒中学校区(一部)	516	27	58	104	113	76	78	60	3,678	29.4%	12,497
⑤	生駒北中学校区(一部) 光明中学校区(一部)	408	26	41	81	98	63	53	46	3,053	24.0%	12,697
⑥	生駒中学校区(一部)	386	46	67	49	77	62	50	35	2,521	27.8%	9,081
⑦	緑ヶ丘中学校区	1,006	70	149	185	213	150	138	101	6,218	27.6%	22,494
⑧	大瀬中学校区(一部)	322	13	53	56	78	57	37	28	2,416	24.5%	9,850
⑨	生駒南中学校区	284	11	43	55	62	36	45	32	1,945	31.3%	6,223
⑩	大瀬中学校区(一部)	370	31	46	65	84	65	51	28	2,334	28.7%	8,127
合計		4,695	315	670	896	1,010	725	615	464	33,647	28.3%	118,838
住所地特例		188										

※令和2年4月1日時点の住民基本台帳(外国人を含む)による数値

※住所地特例の数値は、介護保険事業状況報告令和2年3月分の数値

※住所地特例とは、介護保険施設等に入所又は入居することによって、その施設がある場所に住所を変更した被保険者のうち、それ以前に別の市町村に住所を有していた人は、その施設に入所する前の住所地であった市町村が引き続き保険者となる特例措置(介護保険法第13条)です。